

## 再処理工場のウラン試験時に発生が予想されるトラブル等とその対応(No.7-3)

<b>件名</b>	マスタースレーブマニピュレータの破損																																																		
<b>事象の概要</b>	<p>(1) 発生場所: 機器 前処理建屋: マスタースレーブマニピュレータ</p> <p>(2) 発生の状況 マスタースレーブマニピュレータの保守作業時</p> <p>(3) 概要 マスタースレーブマニピュレータが故障し、交換のため専用治具を用いてセル外に引抜く作業を実施していたところ、当該マスタースレーブマニピュレータが落下し破損</p> <p>* 他建屋も含め同種の機器においても、同様の事象の発生が予想される。</p>																																																		
<b>事象による影響</b>	<p>(1) 工場外への影響 <b>工場外への影響は生じない。</b> 前処理建屋換気設備が稼働している室内での事象及びそれに伴う復旧作業であり、放射性物質の放出等の工場外への影響は生じない。</p> <p>(2) 安全性への影響 <b>安全上の問題は生じない。</b> マスタースレーブマニピュレータの破損により点検・保守に支障が生じるが、他の機器に損傷を与えなければ、これ以上の事象の進展はなく、安全上の問題は生じない。</p> <p>(3) 作業員への影響 <b>作業員への影響は生じない。</b> マスタースレーブマニピュレータの復旧作業は定められた放射線管理要領に従い、作業計画に沿って効率的に作業を進めることにより、作業員への影響は生じない。</p> <p>(4) 他工程への影響 <b>他工程への影響は生じない。</b> マスタースレーブマニピュレータは保守作業に必要な設備であり、マスタースレーブマニピュレータの破損により、他の工程への影響は生じない。</p>																																																		
<b>対応の概要</b>	<p>(1) 破損箇所の状況を確認する。</p> <p>(2) 予め定められた保守作業手順に従い、マスタースレーブマニピュレータの復旧を実施する。</p>																																																		
<b>公表区分</b>	翌平日に公表(ホームページへ掲載)																																																		
<b>対応区分</b>	<table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td style="width: 30%;">(a) 運転継続しながら復旧</td> <td rowspan="5" style="vertical-align: middle;">                     国際評価尺度 (INES) のレベル                       日本原燃による評価: <b>レベル0以下</b> </td> <td style="text-align: center;">0以下</td> <td style="text-align: center;">1</td> <td style="text-align: center;">2</td> <td style="text-align: center;">3</td> <td style="text-align: center;">4</td> <td style="text-align: center;">5</td> <td style="text-align: center;">6</td> <td style="text-align: center;">7</td> </tr> <tr> <td>(b) 運転システムを切り替えて復旧</td> <td colspan="9" style="text-align: center;">(レベル2以下は工場外への影響はない)</td> </tr> <tr> <td>(c) 当該機器を停止して復旧</td> <td colspan="9" style="text-align: center;">放射性物質の外部放出 工場外への影響</td> </tr> <tr> <td>(d) 当該設備を停止して復旧</td> <td colspan="9" style="text-align: center;">放射性物質による汚染、被ばく等 工場内への影響</td> </tr> <tr> <td>(e) 影響範囲の設備を停止</td> <td colspan="9" style="text-align: center;">運転制限範囲からの避難等 多重防護の劣化</td> </tr> </table>	(a) 運転継続しながら復旧	国際評価尺度 (INES) のレベル  日本原燃による評価: <b>レベル0以下</b>	0以下	1	2	3	4	5	6	7	(b) 運転システムを切り替えて復旧	(レベル2以下は工場外への影響はない)									(c) 当該機器を停止して復旧	放射性物質の外部放出 工場外への影響									(d) 当該設備を停止して復旧	放射性物質による汚染、被ばく等 工場内への影響									(e) 影響範囲の設備を停止	運転制限範囲からの避難等 多重防護の劣化								
(a) 運転継続しながら復旧	国際評価尺度 (INES) のレベル  日本原燃による評価: <b>レベル0以下</b>	0以下		1	2	3	4	5	6	7																																									
(b) 運転システムを切り替えて復旧		(レベル2以下は工場外への影響はない)																																																	
(c) 当該機器を停止して復旧		放射性物質の外部放出 工場外への影響																																																	
(d) 当該設備を停止して復旧		放射性物質による汚染、被ばく等 工場内への影響																																																	
(e) 影響範囲の設備を停止		運転制限範囲からの避難等 多重防護の劣化																																																	

本事象は当該機器停止時の保守作業中に発生したものであるため対応区分該当なし。

### 事象概要

